

# 病院事業会計 令和8年度当初予算 説明資料

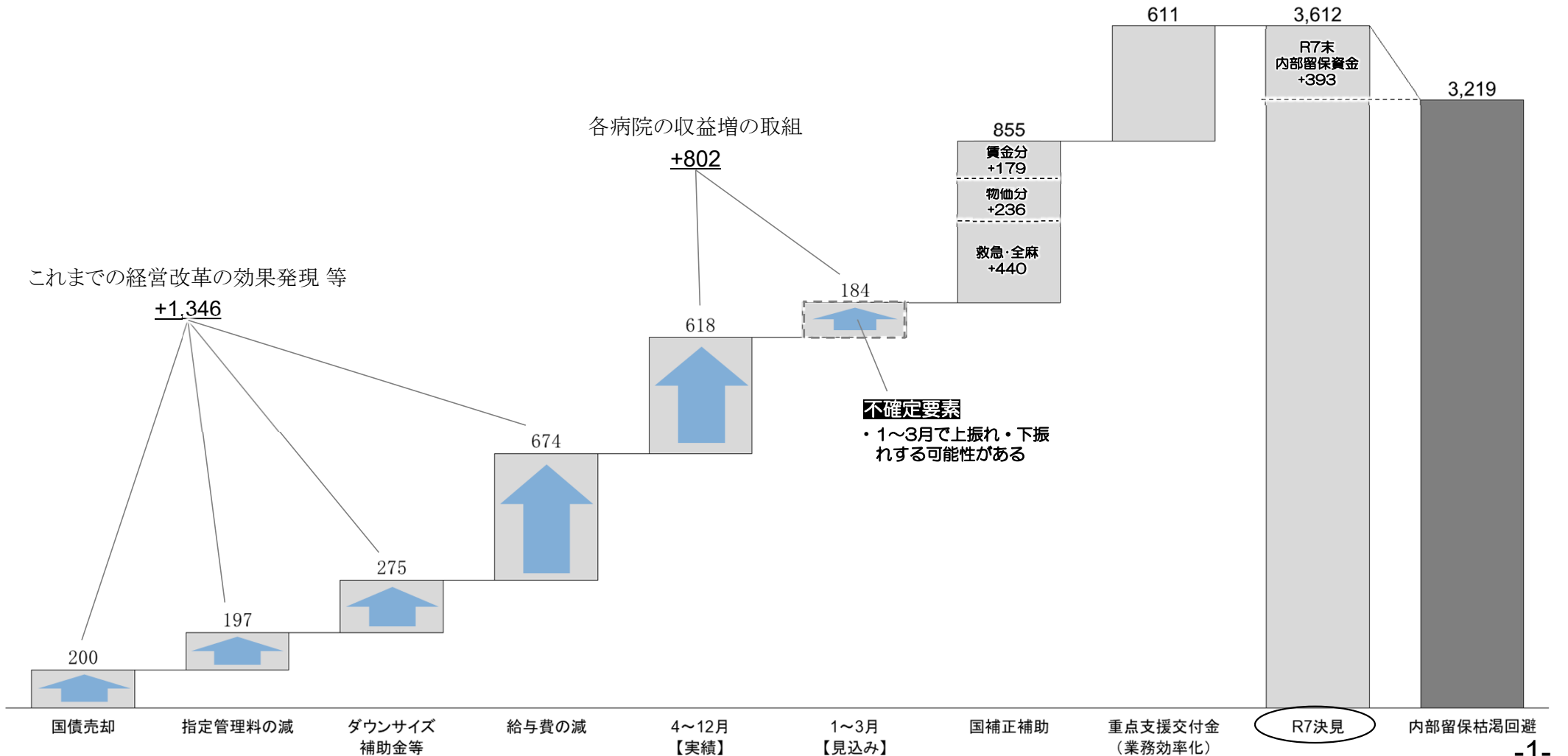
新潟県病院局

# R7年度 決算見込み

- 12月末までの実績を踏まえた、現時点の収支改善額は+36.1億円となる見込み
- 経営改革の効果発現、各病院の収益増の取組、国補正予算による補助、収益性向上に向けた機器整備支援等に加え、人事委員会勧告による職員給与の引上げの実施時期を12月からとし、給与費の増加を抑えたことにより、R7年度末の内部留保資金の枯渇は回避される見込み

(百万円)

- ※ 金額はR6年度決算比
- ※ 現金ベースの改善額
- ※ 表示単位未満四捨五入の関係で内訳と合計は一致しない

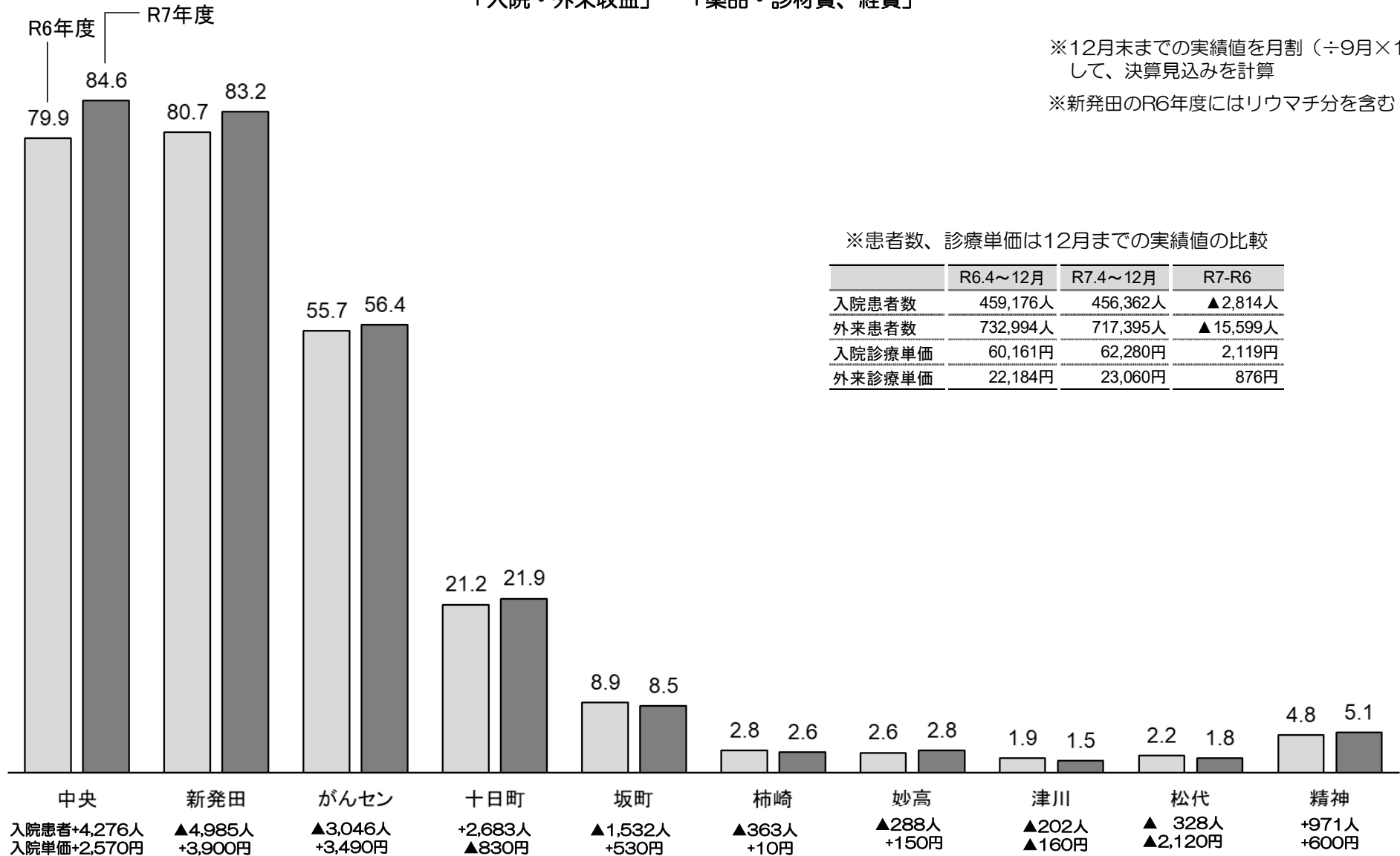


# R7年度 決算見込み

- 患者数は減少しているものの、診療単価が上がったことなどにより、主な収支(「入院・外来収益」-「薬品・診材費、経費」)は、前年度と比べ+8.0億円改善する見込み

(億円)

主な収支  
「入院・外来収益」 - 「薬品・診材費、経費」



※12月末までの実績値を月割(÷9月×12月)して、決算見込みを計算

※新発田のR6年度にはリウマチ分を含む

※患者数、診療単価は12月までの実績値の比較

	R6.4~12月	R7.4~12月	R7-R6
入院患者数	459,176人	456,362人	▲2,814人
外来患者数	732,994人	717,395人	▲15,599人
入院診療単価	60,161円	62,280円	2,119円
外来診療単価	22,184円	23,060円	876円

# R8年度当初予算

- R8診療報酬改定(+3.09%)を踏まえても、現時点でR8年度の大規模な収支改善は見込めないため、資金流出額は大幅に増加する見込み
- R7年度末の残余も僅かなため、R8年度末の内部留保資金の枯渇は避けられない見通し

(億円)

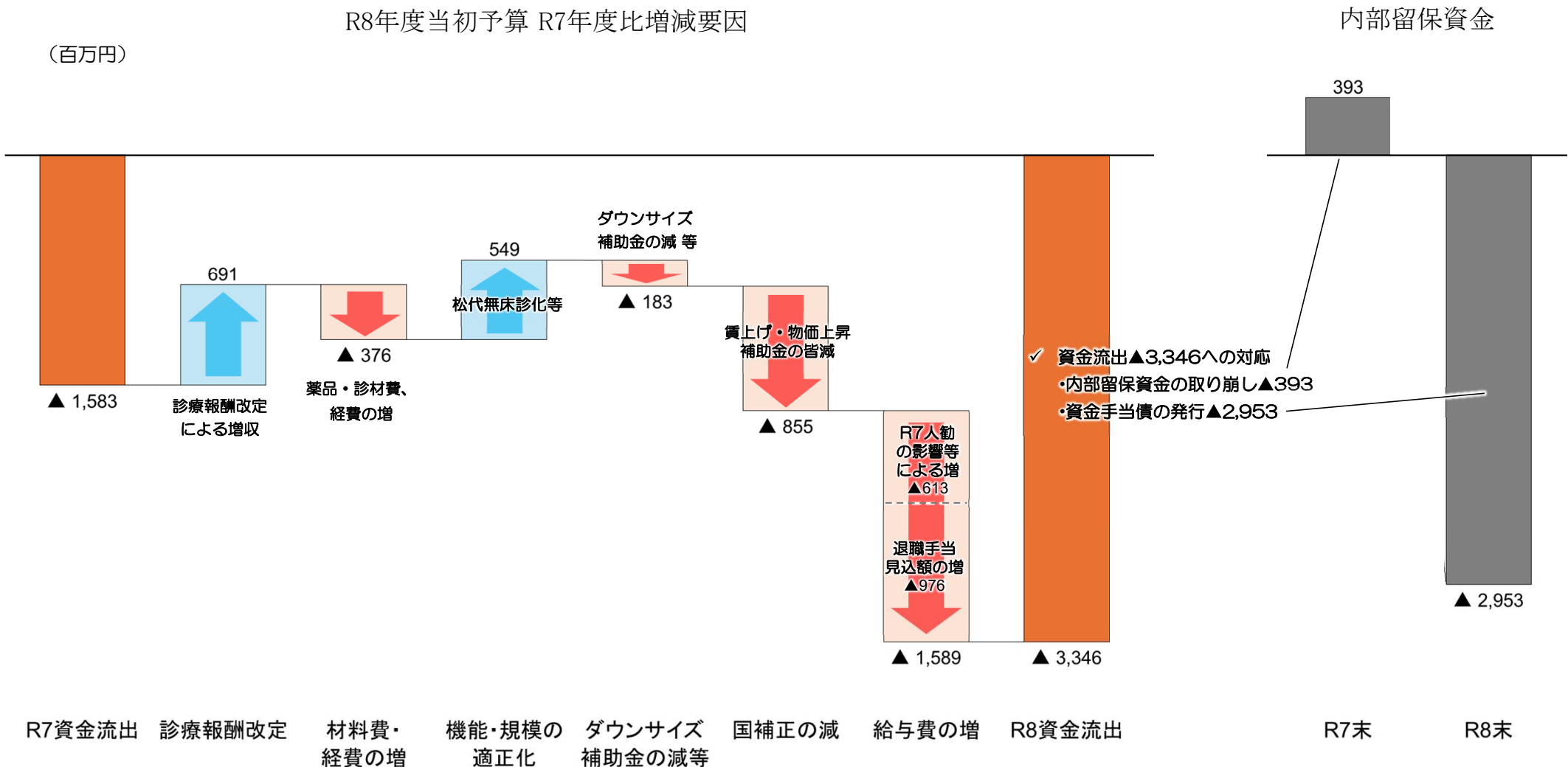
	R7当初	R7決見	R8予算	R8-R7当初	R8-R7決見	増減理由等
主な収益(診療収益) a	610.7	597.9	604.9	▲5.8	6.9	
入院	386.2	387.3	394.1	7.9	6.8	・R8診療報酬改定による増(+6.9億円)
外来	224.5	210.6	210.8	▲13.7	0.1	
主な費用 b	709.9	705.0	719.1	9.2	14.2	
給与費	377.3	375.6	386.0	8.7	10.4	・人勸の影響、退職手当の増、機能・規模適正化による減
薬品費・診療材料費	219.5	213.5	217.1	▲2.4	3.6	・診療収益連動(R7薬品・診材費比率35.9%)
経費	113.1	115.8	116.0	2.9	0.2	・診療収益連動(R7経費比率19.5%) + 企業局電気購入反映(R7比▲1.7億円)
主な収益－費用 c:a-b	▲99.2	▲107.0	▲114.3	▲15.1	▲7.2	
その他収益 d	52.6	66.3	53.0	0.4	▲13.2	・R8国補正の皆減等
その他費用 e	89.0	89.0	87.6	▲1.4	▲1.4	・加茂・吉田指定管理料の減等
一般会計繰入金 f	106.7	104.2	103.5	▲3.2	▲0.7	
純損益 c+d-e+f	▲28.9	▲25.5	▲45.4	▲16.5	▲19.9	
上記のうち非現金支出 ①	30.3	32.3	31.0	0.7	▲1.3	・R7国債売却(2億円)の減等
資本的収支発生資金 ②	▲30.1	▲22.7	▲19.1	11.0	3.6	
資金流出額 純損益+①+②	▲28.7	▲15.8	▲33.5	▲4.8	▲17.6	
年度末内部留保資金残高	0.5	3.9	▲29.5	▲30.0	▲33.5	

# R8年度当初予算の増減要因

- R8年度当初予算では、診療報酬改定により+7億円程度の収益増を見込んでいるが、連動する薬品費、診療材料費、経費の増加(▲4億円程度)により収支改善効果は限定的
- 一方、賃上げ・物価上昇補助金の皆減や、R7人勧の影響等による給与費の増加などにより、資金流出は大幅に拡大(R7▲16⇒R8▲33.5億円程度)
- 今後、R8年度の各病院の収支をより一層改善していくことで、資金流出額の縮減を図っていく

R8年度当初予算 R7年度比増減要因

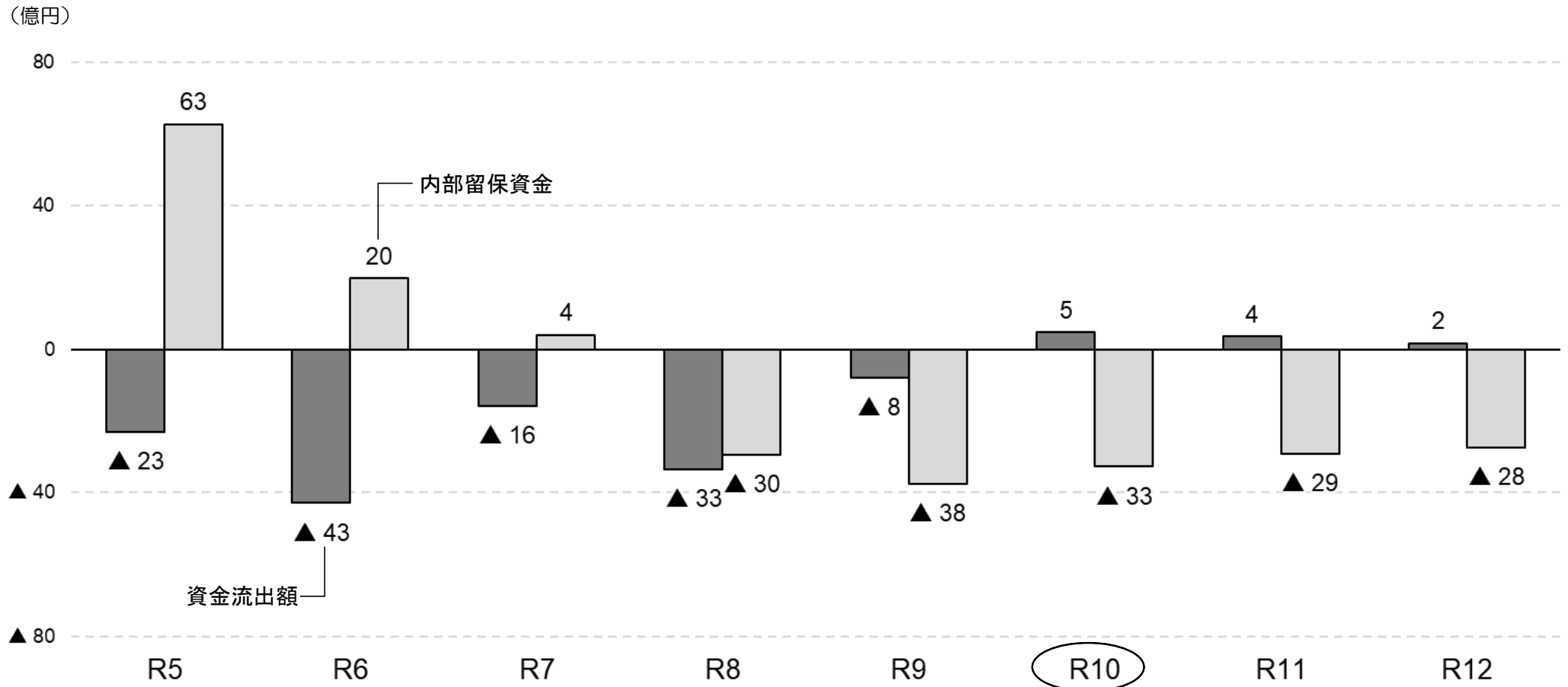
(百万円)



# 中期収支見通し

- 各病院の収支改善と機能・規模の見直しを推進することにより、一般会計繰入金を含めた単年度収支の均衡を図る
- 機能・規模の見直し等の効果が発現するまでの間、資金手当債を発行して不足する財源を補てんする
- 機能・規模の見直しなどにより、R10年度には単年度収支の均衡が図られる見通し

資金流出額・内部留保資金の推移



※ 資金手当債発行可能期間 R7～R9

# 機能・規模の適正化について

※ 病床数は、令和8年4月時点(見込)

実施済

年度	病院名	内容	削減病床数	改善見込額
R6	加茂病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型病院として回復期機能を強化・患者数減少に合わせ病棟スリム化</li> <li>指定管理者へ運営を移行(社会医療法人崇徳会)</li> </ul>	88床 (168床→80床)	5.3億円 (R6決算)
	吉田病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型病院として回復期機能を強化・患者数減少に合わせ病棟スリム化</li> <li>指定管理者へ運営を移行(医療法人愛広会)</li> </ul>	89床 (199床→110床)	
R7	リウマチセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>新発田病院への統合(複合疾患への対応強化)</li> <li>患者数の減少に合わせ病棟スリム化</li> </ul>	48床 (100床→52床)	1.6億円
	坂町病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域密着型病院として回復期機能を強化</li> <li>患者数の減少に合わせ病棟スリム化</li> </ul>	21床 (120床→99床)	1.5億円
	がんセンター	<ul style="list-style-type: none"> <li>がんゲノム医療、治験・臨床試験の推進</li> <li>患者数の減少に合わせ病棟スリム化</li> </ul>	37床 (404床→367床)	2.3億円
R8	松代病院 (まつだい診療センター)	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院機能を十日町病院に移行</li> <li>地域の身近な医療(プライマリ・ケア)を支える拠点(診療所)に変更</li> </ul>	39床 (39床→0床)	3.3億円
	十日町病院	<ul style="list-style-type: none"> <li>病棟機能を見直し、回復期機能を強化 (急性期4、回復期1→急性期3、回復期2)</li> </ul>	25床 (275床→250床)	
※ これまで実施した病院についても、地域の医療需要等を踏まえ、不断に見直しを検討・実施する。			347床	14.0億円

今後実施

病院名	方向性	
中央病院(530床)	<ul style="list-style-type: none"> <li>上越圏域の中期再編の中で検討を進める</li> </ul>	圏域の中核病院として、運営方法含め機能・収益性の強化
柿崎病院(55床)		地域の医療需要・持続可能性を踏まえ、機能・規模を見直し
妙高病院(47床)		地域の医療需要・持続可能性を踏まえ、機能・規模を見直し
新発田病院(519床)	<ul style="list-style-type: none"> <li>下越圏域の中核病院としての機能・収益性の強化を進める</li> </ul>	
津川病院(42床)	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療需要・持続可能性を踏まえ、町・医療・介護等の地域包括ケアシステム関係者の協議の場を設置</li> </ul>	
がんセンター(367床)	<ul style="list-style-type: none"> <li>国が令和10年度を目指し進めているがん診療提供体制の均てん化・集約化の議論や、令和10年度に新潟大学へ設置予定の小児医療専門施設などの状況を踏まえ、あり方検討を進める</li> </ul>	
精神医療センター(189床)	<ul style="list-style-type: none"> <li>令和8年度に策定予定の新たな地域医療構想における精神医療の位置付けの議論を踏まえて検討するとともに機能・収益性を強化</li> </ul>	

# 令和8年度 収益性向上と経営体質の強化に向けた主な取組

(※)の取組は令和7年度2月冒頭補正予算  
に計上（重点支援地方交付金を活用）

## 1. 収益性の向上に向けた機能強化等

### ● 診療機能の維持向上（医療器械備品の整備等）

⇒ 人工心肺装置（体外循環システム）更新

（中央・新発田）

⇒ 手術用電子顕微鏡更新(※)

（新発田病院）

### ● 医療提供体制の整備

⇒ 吉田病院改築（R9秋頃新病院開院予定）に係る病院本体工事 等

（吉田病院）

### ● 医療DXの推進

⇒ AIやデジタル技術を活用した医師・看護師の記録作成効率化(※)

（新発田病院）

⇒ 看護師勤務表の自動作成機能を有するシステムへの更新による効率化(※)

（直営10病院）

## 2. 経営体質の強化

### ● 医師・看護師等の確保・充実

（直営10病院）

⇒ 寄附講座拡充（4講座⇒5講座）

⇒ 看護師養成校への積極的PR、オープンホスピタルの充実（看護師に加え薬剤師にも拡充）

⇒ 認定看護師研修等の充実、特定医療行為養成機関指定（中央病院）による看護師のスキルアップ

### ● 人的資源集中による体制強化と収益力向上

⇒ 新潟労災閉院に伴う患者受入体制強化（医療スタッフ増員）

（中央病院）

⇒ 松代病院の無床診療所化に伴う十日町病院の患者受入体制強化（医療スタッフ増員）

（十日町病院）